

伝統産業職人が振り切った!企画・出演・裏方スタッフ全て自前でネット配信。

この秋は お茶の間で楽しむモノづくり“伝ターテイメント”を!

仏具のまち高岡の職人たちが贈るネット配信イベントの、やりすぎ全カティザービジュアルが公開



仏具のまち高岡から、伝統工芸職人たちによるモノづくりウェブ配信番組。
-冥土のおみやげチャンネル-

2020.10.17 [SAT] - 25 [SUN]

伝ターテイメントが、やってくる。

www.takaoka-densan.com

高岡伝統産業青年会

アナログな職人が、ネットを駆使した配信イベント

www.takaoka-densan.com



富山県高岡市で、400年以上続く鋳物(溶けた金属を鋳造する技術)の産業を引き継ぐ若手職人たちの団体『高岡伝統産業青年会(以下 高岡伝産)』がこの秋、ウェブ完結型モノづくりイベントを開催します。

国内の仏具製造シェアを牽引する高岡市から、普段はなかなか見られない創作現場の生中継配信番組や、zoomを使い画面越しで直接コミュニケーションを取りながら注文ができるセミオーダーサービスなど、新しい生活様式の中でこそ生まれた様々な企画にチャレンジします。楽しくなくちゃ伝産じゃない! 伝統産業の、伝統産業による、伝ターテイメントがやってくる!



写真:2019年の展示会で発表した、イベントキービジュアル

こんなご時世だからこそ面白いことをしたい。

どんな環境下でも超ポジティブな職人たちの提案。

高岡伝産では通年、ワークショップや工場体験ツアーなど、リアルなコミュニケーションを通して地場の魅力モノづくりの面白さを伝える活動をしてきました。

一昔前までは「3K(きつい、きたない、きけん)」と呼ばれ、ネガティブなイメージだった職人たちの世界。しかし昨今では若い世代の職人たちを中心に、そのイメージを払拭してきました。本来は毎年、高岡が最も活気付くモノづくりイベントが相次ぐ見送りとなってしまう中、『今だからできる面白いこと、やりまろうよ』と、この半年間を謎の超ポジティブシンキングで進めてきました。

イベント①:職人がYouTuberになって、モノづくりの現場から生配信!



<https://ichibamachi.jp>

市場街TVのQRコードはこちら

工芸都市 高岡で毎年秋に開催される、モノづくりの祭典「高岡クラフト市場街」とタッグを組み、今年はネット配信で様々なモノづくり番組を企画。高岡伝産では「冥土のおみやげチャンネル」と題し、工場から職人が生出演する「クラフツーツリズモTV」や、職人が作業する手元を定点カメラで数時間配信し続ける番組「定点観職(テイテンカンシヨク)」など、期間中約20~30のコーナーを放送します。

●配信番組例(予定)

- 10/17(月)~23(金) ※平日のみ 職人の手元を定点カメラで見学「定点観職」
- 10/24(土) 14:00~14:45 工芸技術でオタク業界に殴り込んだ、マニアック職人たちの素顔
- 10/24(土) 16:00~16:45 クローズな分業制だったからこそ培った深い技術を、次の時代へ!
- 10/25(日) 11:00~11:45 Iターン移住で単身高岡へ。職人&作家業を営む研磨職人の工房見学
- 10/25(日) 14:00~14:45 蒔絵職人と、パリで修行した一級建築士の、ダブルイケメン異業種コラボ
- 10/25(日) 16:00~16:45 大型鋳物や美術鋳物、高岡を代表する技術のアツイお話



写真:職人の工房から生放送するトーク番組、クラフツーツリズモTV。



写真:定点カメラで職人の手元だけを配信し続ける、定点観職

初挑戦! 非対面接客、画面越しに職人へセミオーダー!(10/7(水)販売開始)



<https://densanec.buyshop.jp>

伝産ECショップのQRコードはこちら

「職人のワザ」を販売するECサイト、冥土のおみやげショップでは、「あの世まで持っていきたい宝物」をコンセプトに、仏具のまち高岡ならではの技術を使った職人たちと、画面越しのオンライン接客を活用したセミオーダーを行います。様々なセミオーダー商品の中から、お気に入りの商品とセミオーダーの希望時間を選択して購入後、後日購入者のみにzoomのURLが送られてきます。記念日のプレゼントや、あなただけの大切なクラフトを、この時だけの特別な価格で提供します!

●販売セミオーダー商品例(予定)

- ・柄、加工方法などを相談しながら職人が制作する、蒔絵ブローチ
- ・鍛金と金属着色職人ダブル出演! 形も色もその場で作る、小型プレート
- ・4代目 螺鈿職人と作る、カワイイのに緻密な技巧、鳥の手鏡 ほか、全6パターン



写真:職人の手元、全体像などを複数のカメラで投影しながら案内してくれるzoomセミオーダー



茶目っ気あふれる オリジナルグッズも販売

仏壇で使える火付け用チャッカマンやマッチ、お線香セットなど、茶目っ気のきいた限定グッズも販売予定。

高岡の伝統工芸が今、とにかくカッコいい!

その昔、工場の職人は世間から3K「きつい、きたない、きけん」と呼ばれていました。しかしいま、高岡の伝統工芸の現場はとってもカッコいい! 昨今、新社屋をオープンした株式会社 能作は、ショップと工場、カフェやオフィスを一体化した建築で、国内外の賞を多数受賞しています。年々平均年齢が若返りしている職人の現場にも、注目が高まっています!



写真:株式会社 能作の新社屋



写真:金属を流し込む瞬間、まさに魂を吹き込んでいるかのよう!

高岡伝統産業青年会 / www.takaoka-densan.com

そんな、高岡の伝統工芸の未来を牽引する若手職人たちのチーム『高岡伝統産業青年会』。

チームのスローガンは”ガラは悪いが、腕はいい”。ニッポンを元気にする彼らの最先端技術を、いざ刮目せよ!



写真:現在会員数約40名の高岡伝統産業青年会



写真:高岡伝産、職人チーム『デッドストックマンズ』

お問い合わせ先 (デザイン・アートディレクション)

株式会社ROLE

電話:0766-53-5862 メール:role@role.ne.jp

羽田純(株式会社ROLE)/ディレクター・デザイナー

1984年大阪出身。ギャラリーのキュレーションを8年間担当後、スタジオ「ROLE」設立。現在は富山県を拠点に、デザイン・プロジェクトのほか、ジャンルを横断しながらさまざまな「活動」の魅力をデザイン。

JAGDA、TOYAMA ADC、高岡伝統産業青年会会員(現 副会長)。

【受賞】TOYAMA ADCグランプリ/とやまクリエイター大賞/富山県デザイン展 大賞/ゴールデン ピンデザインアワード ベストオブデザイン賞(台湾)/JAGDA新人賞ノミネート 他多数

